

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	5	2	1	保健医療	成人保健事業の充実
実施計画事業名					
歯科健診事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	03	歯科健診事業	
担当課・係等					
健康管理課保健センター					

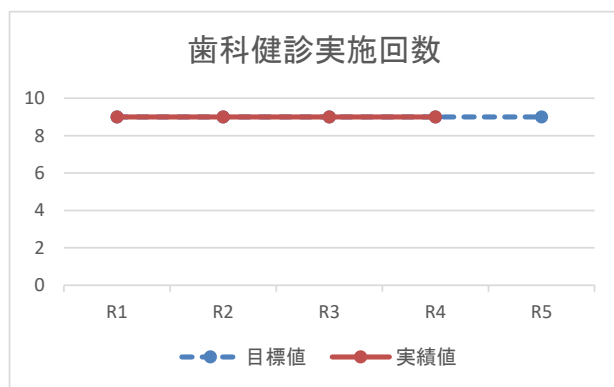
実施計画整理番号	
205020103	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>妊娠期から高齢期までの全市民に対し、生涯自分の歯で食事ができる生活を目指せるよう「8020(ハチマルニイマル)運動」を推進するとともに、市民のQOL(生活の質)の向上を図る。</p>	<p>妊娠期から高齢期までのライフサイクルに応じた歯科健診および歯科保健事業を実施する。併せて茂原市長生郡歯科医師会の協力により、在宅寝たきり者等歯科保健事業を実施する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>歯科健診を実施し疾病を早期発見し、早期治療につなげる。また歯科健康教育を行い、歯科疾患予防に関する知識の普及を図り、施策「成人保健事業の充実」に寄与する。</p>	

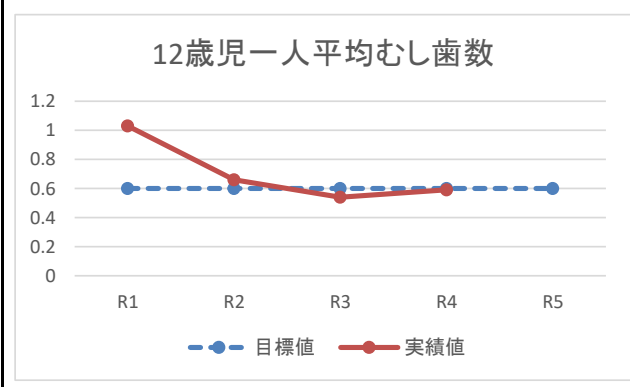
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,065	2,065	1,495	2,065	1,914	1,804			
	国補助	千円				102					
	県補助	千円	120	120	186	102	177	176			
	市債	千円									
	その他	千円			51	75	50	70			
	一般財源	千円	1,945	1,945	1,258	1,786	1,687	1,558			
	人工数	人	1			1					
	人件費	千円	3,782			3,782					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
歯科健診を実施するとともに幼児期からむし歯予防のためにフッ化物応用による歯質強化を図る。	歯科健診実施回数	回	9	9	9	9
		実績値	9	9	9	
	フッ化物洗口実施施設	施設	30	30	30	30
		実績値	3	23	21	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
歯科疾患を予防し、8020運動を推進することで口腔の健康だけでなく全身の健康を維持できる。	12歳児一人平均むし歯数	本	0.6以下	0.6以下	0.6以下	0.6以下
		実績値	0.66	0.54	0.59	

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	5	2	1	歯科健診事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	03	歯科健診事業

整理番号
205020103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児歯科健診6回、歯周病検診3回実施</li> <li>・フッ化物洗口実施施設21施設</li> <li>・フッ化物塗布実施回数31回</li> <li>・在宅寝たきり者等歯科保健事業4件</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>B: 必要性が認められる</b>	<b>B: 有効性が認められる</b>	<b>B: 効率性が認められる</b>
	総合評価		
<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各歯科健診、健康教育等については、感染症対策をしつつ、実施内容を一部変更して実施できた。</li> <li>・歯周病検診については、SNSなど利用し周知しているが受診者数は減少傾向である。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	<b>B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況を注視しながら通常形態に戻した事業内容で実施する。</li> <li>・歯周病検診については、受診率向上のためSNS等による情報発信をするとともにあらゆる機会でも周知する。</li> </ul>	
企画政策課の評価		評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul>	本事業は、疾病の早期発見、早期治療に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、様々な媒体を活用した情報発信、啓発を実施し受診率向上に努めていただきたい。

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	5	2	3	保健医療	成人保健事業の充実
実施計画事業名					
予防接種事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	02	01	予防接種事業	
担当課・係等					
健康管理課予防保健係					

実施計画整理番号	
205020301	
総合戦略	整理番号

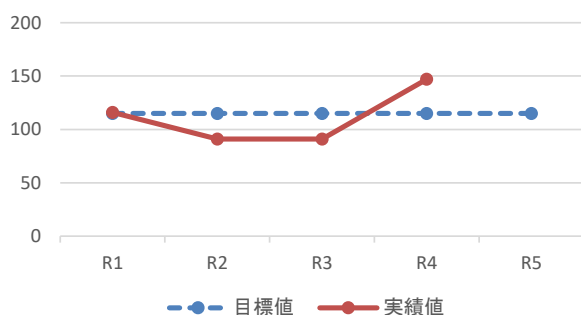
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>予防接種法に基づく定期接種のA類疾病の対象者及びB類疾病の対象者に感染予防、発病予防、重症化予防及び感染症のまん延防止を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への周知(ウェブサイト掲載、広報、受診勧奨含む個別通知等)</li> <li>・接種に関する個別相談</li> <li>・新たなワクチンの定期接種化やワクチン不足等に対し、県や地区医師会と協議のうえ、安全に滞りなく接種が可能な接種体制の構築を図る。</li> </ul>
	<p>基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)</p> <p>感染症の発生とまん延防止を図るため、予防接種に対する正しい知識の普及、啓発に努める必要がある。予防接種未接種者への接種勧奨や広報などに予防接種の情報を掲載することで、感染症の発生とまん延防止を図り、ひいては施策「総合的な子育て支援の充実」及び「成人保健事業の充実」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	230,505	230,503	201,390	230,505	273,152	218,934		
国補助		千円	8,035	8,035	5760	8,035	7,785	5,531			
県補助		千円	25	25	12	25	25	32			
市債		千円									
その他		千円	3	3	4	3	3	1			
一般財源		千円	222,442	222,440	195,614	222,442	265,339	213,370			
人工数	人	2.7			2.9						
人件費	千円	12,578			11,254						

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
定期予防接種に関する住民への周知や接種に関する相談を実施するとともに、適切な接種体制の構築を図る。	接種勧奨回数	回	115	115	115	115
		実績値	116	91	147	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
予防接種法に基づく対象者の感染症予防、発病予防、重症化予防及び感染症のまん延防止ができる。	A類疾病(小児定期予防接種)の接種率おおむね95%以上	%	95	95	95	95
		実績値	96	86	91	

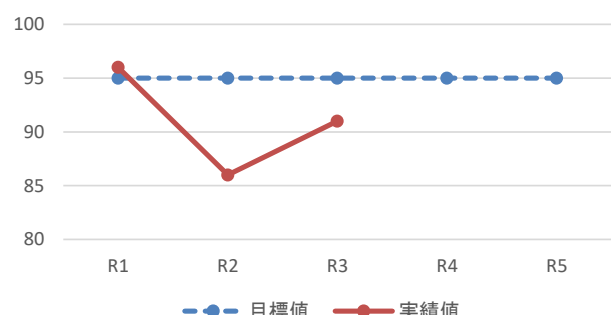
活動指標の動向

接種勧奨回数



成果指標の動向

A類疾病の接種率



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	5	2	3	予防接種事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	02	01	予防接種事業

整理番号
205020301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・毎月予防接種対象者へ予診票を発送。未接種者へ接種勧奨はがきを送付。</p> <p>・令和4年4月から子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が再開されたが、接種者数が伸び悩み、令和4年度の接種回数は、定期接種…491回(接種率51.6%(中学1年生の接種率6.0%))、キャッチアップ…570回(接種率6.6%)となっている。それ以外のA類疾病(小児定期予防接種)の接種率はおおむね95%以上である。</p> <p>・B類疾病(高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザ)については、対象者への個別通知(予診票の発送)や広報・市公式ウェブサイトにて周知を行い、必要な情報を提供することができた。</p> <p>・令和4年4月末に国の風しん追加的対策の未受診者に対し、4月当初に受診勧奨の通知と広報・市公式ウェブサイトにて周知を行ったが、抗体検査受検率は国が示す51%には届かず、3.3%の実施率となっている。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価			
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・国の風しん追加的対策に関しては、国が示す抗体検査受検率51%に達しておらず、3.3%の実施率となっている。対象者自身が感染予防の必要性について理解が不足していることにより、未受検であるものと考えられる。</p> <p>・A類疾病(小児定期予防接種)の子宮頸がんワクチンについては、積極的勧奨差控え時に使用していたワクチンと同様であり副反応に対し不安を感じる保護者や、定期予防接種に認められていない新しいワクチン(9価ワクチン)の接種希望者もあり、接種率が伸び悩んでいると考えられる。</p> <p>・B類疾病 B類疾病である高齢者肺炎球菌については、任意接種が令和5年度で終了となることから、接種希望者が令和5年度中に接種することができるよう周知する必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<p>・国の風しん追加的対策に関しては、抗体検査未受診者に対し勧奨通知文を個別に送付し、広報・市公式ウェブサイトにて引き続き周知を行い、知識の普及を図る。</p> <p>・A類疾病(小児定期予防接種)(子宮頸がんワクチン以外)に関しては、おおむね95%以上の接種率を維持しており、継続して対象者への接種勧奨や予防接種の必要性について知識の普及を図る。</p> <p>・子宮頸がんワクチンについては、令和5年4月から新たに9価ワクチンが定期予防接種で使用できるワクチンに追加となるため、対象者に対し情報提供や知識の普及を図り、安心して予防接種ができる体制を整える。</p> <p>・B類疾病である高齢者肺炎球菌は、65歳から100歳までの5歳刻みの市民を対象に実施している定期接種が令和5年度で終了となることに伴い、市独自で実施している任意接種も終了となる見込みである。そのため、接種希望者が令和5年度中に接種することができるよう、対象者への個別通知や広報・市公式ウェブサイトにて周知を行っていく。(令和6年度からは、新規65歳の市民を対象とした定期接種のみとなる予定)</p>			
企画政策課の評価		評価理由		
B		<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>本事業は、感染症の発生とまん延防止に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、積極的な接種勧奨を図るとともにSNS等を活用した啓発も検討し受診率向上に努めていただきたい。</p>		

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	6	2	2	社会保障	後期高齢者医療制度の適正な運営
実施計画事業名					
後期高齢者医療事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	06	01	後期高齢者医療事業	
担当課・係等					
国保年金課・高齢者医療係					

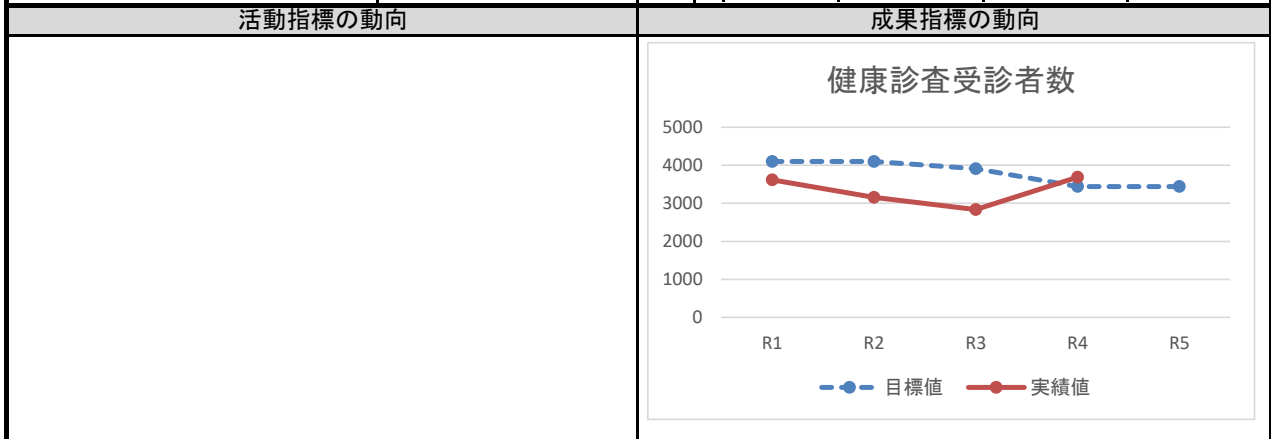
実施計画整理番号	206020201
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	後期高齢者医療制度加入者の生活習慣病の早期発見に努め、健康保持増進を図ることを目的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診査については、茂原市長生郡医師会等に委託して実施する。</li> <li>短期人間ドックは、契約医療機関で実施した方について、検査費用の助成をする。</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

2025年以降、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療の高度化により平均寿命が伸びている中、健康診査、人間ドックを受診することにより健康寿命の延伸を促進することで、施策「後期高齢者医療制度の適正な運営」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	60,896	60,896	54,430	55,891	59,803	59,506			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	51,189	51,189	46,278	44,722	47,583	49,839			
	一般財源	千円	9,707	9,707	8,152	11,169	12,220	9,667			
	人工数	人	1.4			1.4					
	人件費	千円	10,588			10,588					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
健康診査、短期人間ドックを受診することにより、自身の健康に関心を持ち、病気の早期発見、早期治療につながり、長期的に医療費の抑制にもつながっていく。						
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
年々増加する被保険者数に対し、健康診査、短期人間ドックを受診することにより、市民の生活習慣病の早期発見、健康保持増進を図る。	健康診査受診者数	人	4,100	3,910	3,440	維持する
		実績値	3,153	2,835	3,685	



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	6	2	2	後期高齢者医療事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	06	01	後期高齢者医療事業

整理番号
206020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報での周知ならびに健診受診対象者全員に受診案内を送付した。</li> <li>・令和4年度も、引き続き、新型コロナウイルスの影響により、集団健診は日程の縮小、人数・会場制限をしながら感染防止対策を講じて実施した。</li> <li>・健康診査、短期人間ドックともに受診者数が増加し、受診率も上がった。</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>B: 必要性が認められる</b>	<b>B: 有効性が認められる</b>	<b>B: 効率性が認められる</b>
	総合評価		
<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査、短期人間ドック受診者数及び受診率向上の要因としては、被保険者数の増と健康意識の向上、コロナ禍での受診控えも落ち着き、短期人間ドックや個別健診での受診を希望される者が増えたものと考える。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	<b>B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、集団健診は健診日程の縮小、会場の制限がある中、感染防止対策を講じながら、健康診査の普及啓発に努めていく。</li> <li>・引き続き、広報での周知ならびに健診受診対象者全員に受診案内を送付し、健診を受けることにより、自身の健康に関心が持て、病気の早期発見、早期治療につなげ、医療費の抑制にもつなげていく。</li> </ul>	
	企画政策課の評価	評価理由
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul> <p>本事業は、市民の生活習慣病の早期発見及び健康保持増進に資する事業と認められる。更なる受診率向上及び健康意識の向上のため、SNS等の活用による情報発信強化に努めていただきたい。</p>	

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	6	4	1	社会保障	生活困窮者の自立に向けた支援
実施計画事業名					
家計相談支援事業					

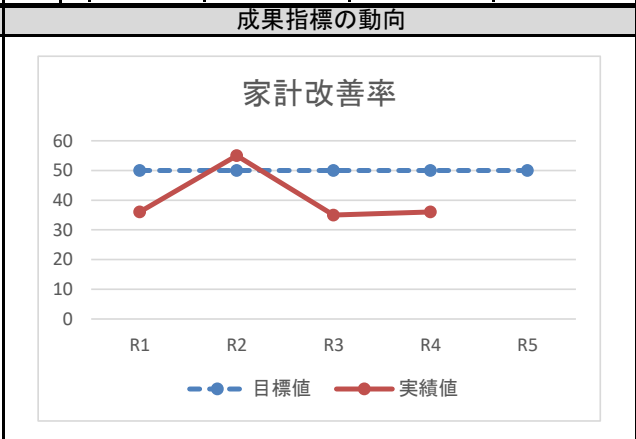
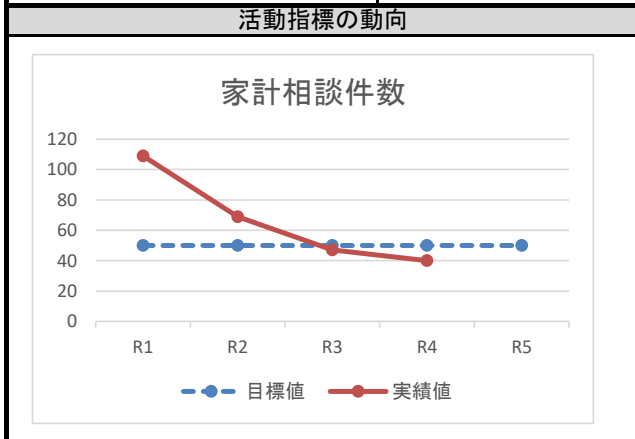
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	01	07	自立相談支援事業	
担当課・係等					
社会福祉課 保護係					

実施計画整理番号	
206040101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	収入よりも生活費が多く、お金が不足しがちで借金に頼ったり支払を滞らざるを得ない人や、生活保護には該当しないが、収入に波があり、家計が苦しい人に対して、家計・その他相談に応じ、収支管理を助言することにより、自立できるようにする。	生活困窮者自立支援法に基づき、「NPO法人長生・夷隅地域のくらしを支える会」を相談窓口とし、対象者に対して家計、その他の相談支援やプラン作成等を実施し自立に向けた支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	生活保護に至る前に世帯の課題と家計の収支を把握し、支出の抑制など収支バランスを整えることで生活困窮状態の改善を図る。これにより施策「生活困窮者の自立に向けた支援」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	5,431	5,431	5,431	5,431	5,431	5,431			
	国補助	千円	2,715	2,715	2,715	2,715	2,715	2,715			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,716	2,716	2,716	2,716	2,716	2,716			
	人工数	人	0.01			0.01					
	人件費	千円	75,630			75,630					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
相談者の債務整理や支出の見直し、収支バランスを整える。	家計相談件数	目標値	50	50	50	50
		実績値	69	47	40	
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
家計、その他相談に応じ、収支管理の助言を行い、自立できるようにする。	家計改善率	目標値	50	50	50	増加を目指す
		実績値	55	35	36	



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	6	4	1	家計相談支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	07	自立相談支援事業

整理番号
206040101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・収入が減少した世帯に対して貸付を受けられるよう社会福祉協議会への支援申請を行った。</p> <p>・令和5年1月末での集計状況</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
<b>B: 必要性が認められる</b>	<b>B: 有効性が認められる</b>	<b>B: 効率性が認められる</b>
総合評価		
<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>新型コロナウイルス感染症の流行による相談は落ち着いてきているものの、流行時の特例で社会福祉協議会から借入を行った福祉資金の返済あるいは返済免除の相談のみという者が一定数おり、本来の家計改善の事業が圧迫された。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
<b>B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</b>	<b>⑥その他</b>
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>支出の削減や債務整理を行うとともに、相談者自身で収入支出のバランスを整えられるように支援を行うという、従来の事業を主として進めていく。ただし、新型コロナウイルス感染症の流行が再燃する、または福祉資金の返済あるいは返済免除手続きの相談が増加するようであれば、支援方法の再考や担当職員を増やすなどの対応を検討する。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>生活困窮者の自立に一定の成果を挙げていると認められる。本来の業務を実施できない場合の対応については、新型コロナウイルス感染症の状況及び財政状況を十分に考慮しつつ検討する必要がある。引き続き、効果的・効率的な支援体制・支援方法について調査・研究いただきたい。</p>



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	3	2	子育て支援	配慮を必要とする子どもや家庭への支援
実施計画事業名					
養育支援訪問事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	10	養育支援訪問事業	
担当課・係等					
子育て支援課 子ども家庭相談室					

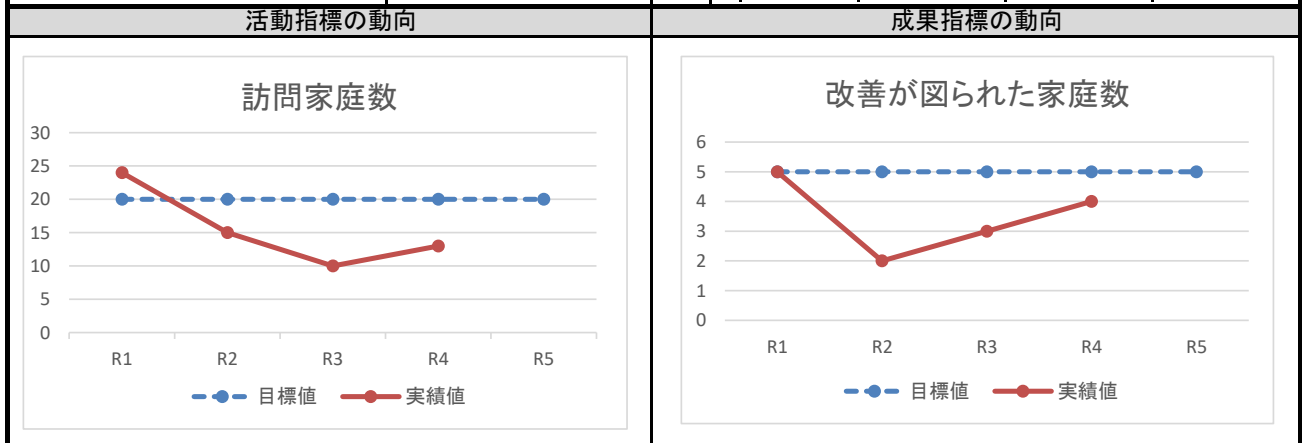
実施計画整理番号	
202030203	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	養育支援が特に必要な家庭に対して、その家庭を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、適切な児童の養育ができるように支援する。	対象となる家庭に対して、開始前と終了時に関係機関と個別の支援会議を開催し、適切な支援が行えるように努める。また、適切な養育指導の実施のため、訪問支援員へ研修を行い、技能の向上を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

保健センターの幼児健診や赤ちゃん訪問事業により把握した保護者への養育支援が特に必要と思われる家庭に対して、保健師・看護師・保育士が家庭を訪問し、養育に関する相談、指導、助言を行うことにより、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭の養育環境を改善することで、児童虐待の防止につながり、ひいては施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,369	1,369	614	1,369	1,325	568			
	国補助	千円	456	456	204	456	441	189			
	県補助	千円	456	456	204	456	441	189			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	457	457	206	457	443	188			
	人工数	人		0.3			0.3				
	人件費	千円		2,269			2,269				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
関係機関や市保健センターの健診等を通じて養育支援が必要な家庭を把握し、適切な支援の実施に努める。	訪問家庭数	件	20	20	20	20
		実績値	15	10	13	
	延べ訪問回数	回	200	200	200	200
		実績値	146	111	123	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
養育支援が必要な家庭の養育環境を改善することで、児童虐待の防止につなげる。	改善が図られた家庭数	件	5	5	5	5
		実績値	2	3	4	



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	3	2	養育支援訪問事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	10	養育支援訪問事業

整理番号
202030203

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・赤ちゃん訪問事業の実施結果や関係機関からの連絡等により、育児不安が強い、育児手技が未熟などで養育支援が必要であると判断した家庭に対し、専門的相談支援と家事及び育児支援を実施した。</p> <p>・実施するにあたり関係機関でケース会議を開催し、支援目標や支援内容、支援機関について協議を行い取り組んでおり、必要に応じて他の支援機関へつなげるなどの支援を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>B: 必要性が認められる</b>	<b>B: 有効性が認められる</b>	<b>B: 効率性が認められる</b>
	総合評価		
<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>関係機関からの情報提供により、養育について積極的に支援することが必要と判断される家庭に対し、訪問での指導や助言を行ったことにより、安定した児童の養育が行え、児童虐待防止につながった。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	<b>B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>引き続き、今後も関係機関と連携し、支援が必要な家庭の早期発見に努め、適切な支援を実施する。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
<b>A</b>	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>本事業は、支援を必要とする家庭の養育環境の改善に資するものと認められる。引き続き、関係機関と連携を図りながら、養育支援が必要な家庭の把握に努めるとともに、適切な支援を実施していただきたい。</p>	

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	3	1	1	高齢者福祉	高齢者福祉の充実
実施計画事業名					
福祉・介護人材確保対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	04	07	福祉・介護人材確保対策事業	
担当課・係等					
高齢者支援課・管理係					

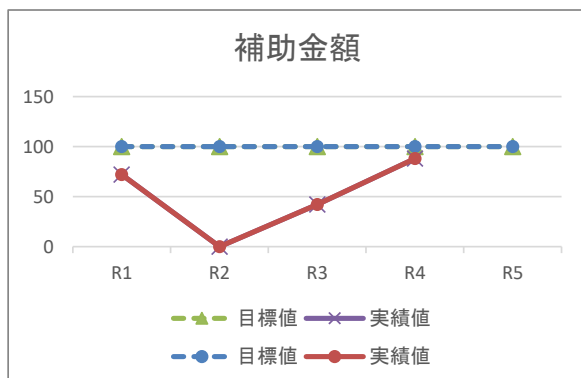
実施計画整理番号	
203010101	
総合戦略整理番号	31201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	初任者研修を修了した介護職員の研修費を助成し、介護職員として就職する人材を増やすことで、安定した介護サービスが受けられるようにする。	初任者研修を修了した介護職員の研修費を助成する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
高齢化の進展に伴う要介護者・要支援者等の増加により、介護サービスの担い手となる介護人材の確保、定着を促進することで、安定した介護サービスの供給を図り、施策「高齢者福祉の充実」に寄与する。		

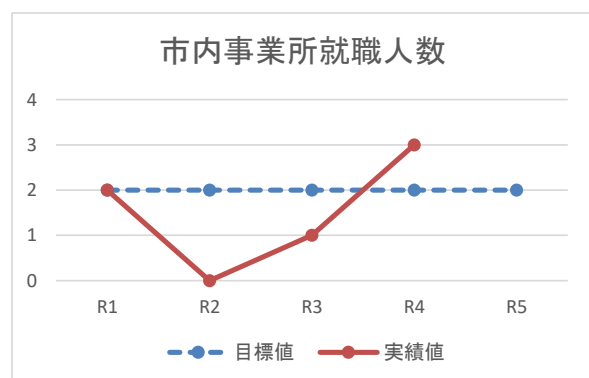
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	100	100	42	100	100	88			
	国補助	千円									
	県補助	千円	75	75	31	75	75	66			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	25	25	11	25	25	22			
	人工数	人		0.1			0.1				
	人件費	千円		757			756				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
介護職員初任者研修を終了した者に対し研修受講費用の一部補助を実施	補助金額	千円	100	100	100	100
			0	42	88	
成果	成果指標	人	2	2	2	2
			0	1	3	

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	3	1	1	福祉・介護人材確保対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	07	福祉・介護人材確保対策事業

整理番号
203010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市公式ウェブサイトにおいて制度周知を行い、3名に対し助成を行った。</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度利用者が増加傾向にあることから、今後は予算の増額も検討していく必要がある。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービス事業者と連携を密にし、制度周知を図っていく。</li> </ul>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	介護人材の確保、定着の促進に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、安定した介護サービスの供給のため、関係機関との連携及び様々な媒体を用いた制度周知に努めていただきたい。

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	3	1	1	高齢者福祉	高齢者福祉の充実
実施計画事業名					
<b>介護基盤等整備促進事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	04	08	介護基盤等整備促進事業	
担当課・係等					
高齢者支援課・管理係、介護給付係					

実施計画整理番号	
203010102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	高齢者が住み慣れた地域で安全に継続して生活していくことができるよう、地域密着型介護老人福祉施設の整備や防災補強改修等を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護老人福祉施設等の整備</li> <li>・防災補強改修</li> <li>・老朽化に伴う修繕</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の新規整備及び防災補強改修等を実施する事業者に対し一部補助を行うことにより、必要とする介護施設の利用定員を確保し、施策「高齢者福祉の充実」に寄与する。</li> </ul>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	34,262	204,187	204,187	7,730	8,640	1,254			
	国補助	千円									
	県補助	千円	34,262	204,187	204,187	7,730	8,640	1,254			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0			
	人工数	人	0.45			0.45					
	人件費	千円	3,404			3,403					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
対象事業者に対し一部補助を実施する。			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	目標値			
			実績値			
活動指標の動向			成果指標の動向			

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	3	1	1	介護基盤等整備促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	08	介護基盤等整備促進事業

整理番号
203010102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内2施設に対し補助を実施し、施設整備等を実施した。</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<h2 style="margin: 0;">A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</h2>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も高齢化が進んでいくことから、引き続き必要な介護ニーズの把握に努めていく必要がある。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給費実績等から必要なサービスを見込み、第9期介護保険事業計画に反映させる。</li> <li>・防災改修等については、引き続き国県の動向に注視し、必要に応じ事業所に周知していく。</li> </ul>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、高齢者が安全に生活できる環境整備に資する事業と認められる。引き続き、事業者への周知及び介護ニーズの把握に努めていただきたい。

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	3	2	1	高齢者福祉	高齢者の社会参加の促進
実施計画事業名					
高齢者在宅生活支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	04	03	高齢者在宅生活支援事業	
担当課・係等					
高齢者支援課・管理係					

実施計画整理番号	
203020101	
総合戦略整理番号	

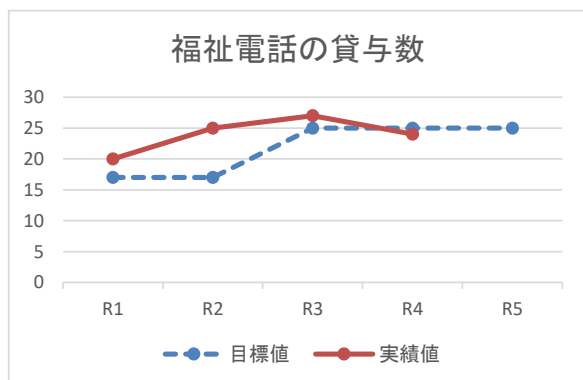
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	日常生活を営む上で支障のある高齢者が、自立した日常生活を営むことができるよう、電話設置による安否の確認、各種の相談を行うとともに、関係機関の協力を得て、各種のサービスを提供し、もって高齢者の福祉向上に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉電話の設置</li> <li>・高齢者短期宿泊、生活援助事業の実施</li> <li>・リサイクルベッドの貸出</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	事業を実施することで、高齢者の在宅福祉支援を図り、ひいては施策「高齢者の社会参加の促進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	1,164	1,164	727	1,164	1,133	596			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	113	113		113	57				
	一般財源	千円	1,051	1,051	727	1,051	1,076	596			
人工数	人		0.13		0.1						
人件費	千円		983		756						

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
電話設置による安否の確認、各種の相談を行うとともに、関係機関の協力を得て、各種のサービスを提供する。	福祉電話の貸与数	台	17	25	25	25
			25	27	24	
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
高齢者の在宅福祉支援を実施することにより、自立した日常生活を営むことができるようにする。						
			目標値			
			実績値			

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	3	2	1	高齢者在宅生活支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	03	高齢者在宅生活支援事業

整理番号
203020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉電話の設置を24人に対し実施した。</li> <li>・リサイクルベッドの貸出しを4人に対し実施した。</li> </ul>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉電話事業については、一定数の利用者がいることから引き続き継続していく必要がある。</li> <li>・高齢者短期宿泊、生活援助事業は必要とする対象者が年度により異なるが制度上必要である。</li> <li>・リサイクルベッドの貸出しについては、介護保険サービス内に同様のサービスがある。</li> </ul>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
C: 事業の休止・廃止の検討が必要	⑥その他
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉電話の貸与については、今後も必要数を把握しながら適切に実施していく。</li> <li>・在宅介護機器リサイクル事業については、ベッドの利用終了後は順次廃棄し、事業廃止の方向で検討する。</li> </ul>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul> <p>本事業は、高齢者の在宅福祉支援に資する事業と認められる。一方で、同内容のサービスが存在することから計画的に事業の見直しを図るとともに、利用者ニーズを加味しながら事業の縮小を検討する必要がある。</p>



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
2	3	2	1	高齢者福祉
				高齢者の社会参加の促進
実施計画事業名				
生きがい対策事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	04	生きがい対策事業
担当課・係等				
高齢者支援課・管理係				

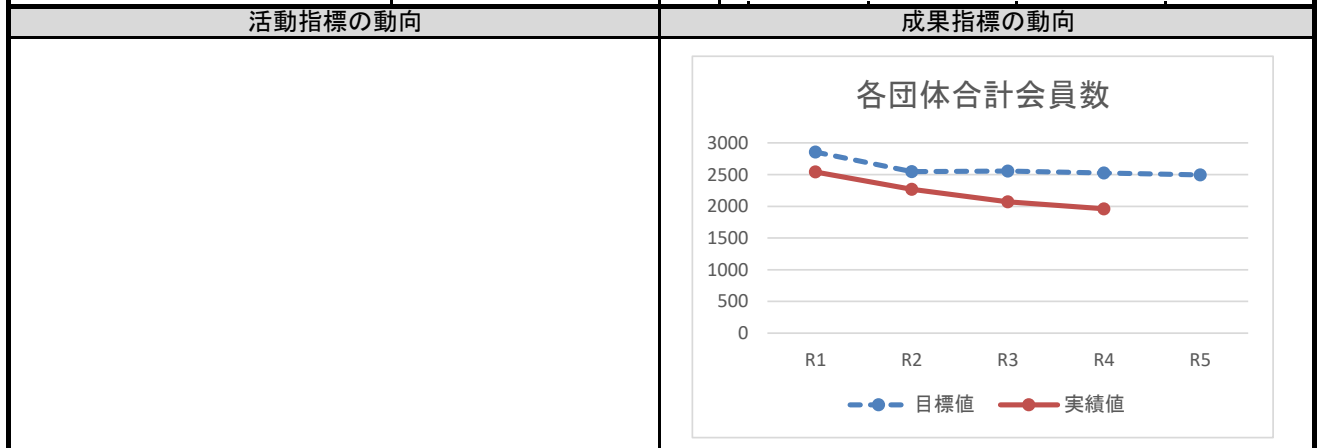
実施計画整理番号	
203020102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	高齢者の能力を生かした就業機会の提供や社会参加を促し、心身の健康保持及び地域社会における社会福祉の増進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯大学校用地の借上</li> <li>・長寿クラブへの補助金交付</li> <li>・シルバー人材センターへの補助金交付</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

高齢者の能力を活かした就業機会の提供や社会参加を促すとともに、心身の健康保持及び地域社会における福祉の増進を図ることで、施策「高齢者の社会参加の促進」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	6,537	6,537	5,964	6,537	6,400	6,096			
	国補助	千円									
	県補助	千円	1,086	1,086	913	1,086	1,125	973			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,451	5,451	5,051	5,451	5,275	5,123			
	人工数	人	0.45			0.4					
	人件費	千円	3,404			3,025					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
対象団体に対し適切に補助金を交付することで高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図る。		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
生きがいの場を提供することで、心身の健康保持及び地域社会における福祉の増進を図る。	生涯大学校、長寿クラブ、シルバー人材センター 合計会員数	人	2,545	2,555	2,525	2,495
		実績値	2,270	2,072	1,961	



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	3	2	1	生きがい対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	04	生きがい対策事業

整理番号
203020102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯大学校用地の借上げを実施した。</li> <li>・長寿クラブ及びシルバー人材センターに補助金を交付し活動を支援した。</li> </ul>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
<b>B: 必要性が認められる</b>	<b>B: 有効性が認められる</b>	<b>B: 効率性が認められる</b>
総合評価		
<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯大学校用地の借上げや各団体を支援することで、高齢者の心身の健康保持及び地域社会における福祉の増進に寄与した。</li> <li>・昨今のコロナ禍により会員数の減少が目立ってきている。</li> </ul>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
<b>B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体による活動は、健康寿命の延伸である「介護予防・認知症予防」の一役をになっているとともに、高齢者の社会活動は「地域包括ケアシステム」における重要な地域資源である。アフターコロナを見据え、市としても会員募集の広報活動等を積極的に行うなど、会員数の増加に繋がるよう各実施主体と協議・連携し支援に努める。</li> </ul>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul> <p>高齢者に就業機会の提供や社会参加を促すことで、高齢者の心身の健康保持及び地域社会における福祉の増進に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、積極的な情報発信等を実施し高齢者の社会参加促進に努めていただきたい。</p>

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
2	3	2	1	高齢者福祉
				高齢者の社会参加の促進
実施計画事業名				
<b>敬老事業</b>				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	01	敬老事業
担当課・係等				
高齢者支援課・管理係				

実施計画整理番号
203020103
総合戦略 整理番号

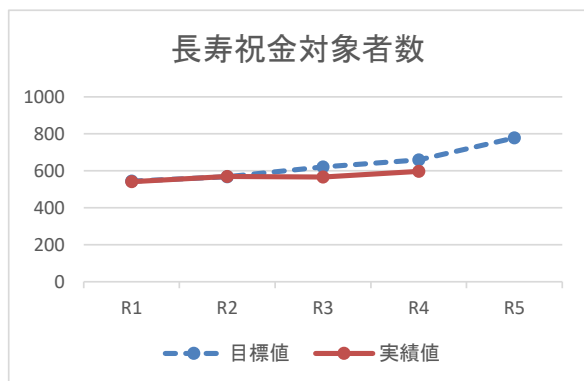
事務事業の概要	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
(PLAN)	<p>長寿者(88歳、99歳、100歳以上)を祝福するとともに、敬老の意を表し、福祉の増進を図る。</p>	<p>長寿祝金の配付。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>高齢者人口の増加に伴い、地域で助け合う体制づくりや生きがいを持って暮らせる地域づくりが重要となっている。長寿の節目を迎える対象者に長寿祝金を贈呈することで高齢者に対する敬老思想の高揚を図り、施策「高齢者の社会参加の促進」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	4,381	4,381	4,016	4,016	4,628	4,120			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,381	4,381	4,016	4,016	4,628	4,120			
	人工数	人	0.30			0.4					
	人件費	千円	2,269			2,269					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
対象者を適切に把握し、配布を実施するとともに実態把握を行う。	長寿祝金対象者数	人	目標値	568	621	659	778
			実績値	569	566	597	
			目標値				
			実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
長寿者を祝福することで、市民の敬老思想の高揚を図る。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	3	2	1	敬老事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	01	敬老事業

整理番号
203020103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者597人に対し長寿祝金を贈呈した。</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿祝金の贈呈及び事業実施の周知により、市民の敬老思想の高揚が図られた。</li> <li>・地域で助け合う体制づくりがより一層重要となる中で、長寿祝金を支給することにより民生委員との連携及び高齢者の安否確認に寄与し、福祉の増進が図られている。</li> <li>・今後、高齢者人口の増加が見込まれるなかで事業費の増大が懸念される。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、民生委員と連携を図っていく。</li> <li>・限られた財源の中で持続可能な制度とすべく支給金額の見直しを実施し、令和5年度より施行する。</li> </ul>			
	企画政策課の評価		評価理由	
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	市民の敬老思想の高揚に資する事業と認められる。引き続き、継続的な事業実施のため他自治体の調査・研究を実施するとともに、情報発信の強化を図り市域全体での敬老思想の高揚に努めていただきたい。		

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	4	1	2	障害者福祉	障害者福祉の充実
実施計画事業名					
重度心身障害者医療費助成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	02	09	重度心身障害者医療費助成事業	
担当課・係等					
障害福祉課障害福祉係					

実施計画整理番号	
204010201	
総合戦略整理番号	

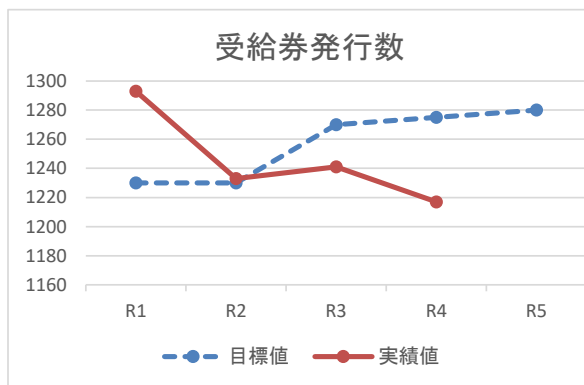
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>重度心身障害者の疾病にかかる医療負担の軽減を図り、健康の保持や生活の安定確保等、福祉の増進を目的とする。</p>	<p>医療費から保険給付の額を控除した額について、その費用の全部、または一部を助成する。 自己負担額は、通院1回・入院1日につき300円、ただし調剤代は無料とする。市民税所得割非課税世帯は、0円。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

重度心身障害者の疾病にかかる医療費を助成し、経済的負担を軽減することで健康保持や生活の安定確保等につなげ、施策「障害福祉の充実」に寄与する。

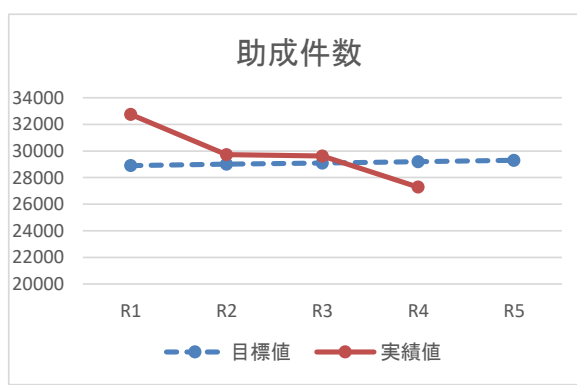
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	150,888	150,449	141,534	150,888	145,978	144,553			
	国補助	千円									
	県補助	千円	75,444	76,754	71,876	75,444	74,272	73,387			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	75,444	73,695	69,658	75,444	71,706	71,166			
	人工数	人	1.15			1.16					
	人件費	千円	7,280			7,309					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
重度心身障害者の疾病にかかる医療費から保険給付の額を控除した額について、その費用の全部または一部を助成する。	受給券発行数	件	1,230	1,270	1,275	1,280
		実績値	1,233	1,241	1,217	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
重度心身障害者の医療費負担の軽減を図り、健康保持や生活の安定確保等につなげる。	助成件数	件	29,000	29,100	29,200	29,300
		実績値	29,721	29,618	27,282	

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	4	1	2	重度心身障害者医療費助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	09	重度心身障害者医療費助成事業

整理番号
204010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度心身障害者の疾病にかかる医療費から保険給付の額を控除した額について、その費用の全部または一部を助成した。</li> <li>・重度心身障害者の医療費負担の軽減を図った。</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度心身障害者の疾病にかかる医療費負担の軽減に効果があった。</li> <li>・医療費負担の軽減を図ったことにより、重度心身障害者の健康保持や生活の安定確保等につながった。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、重度心身障害者の疾病にかかる医療費を助成し、経済的負担を軽減する。</li> <li>・引き続き、重度心身障害者の健康保持や生活の安定確保等を図っていく。</li> </ul>			
	企画政策課の評価		評価理由	
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、重度心身障害者の医療負担の軽減を図ることで、健康保持や生活の安定確保等に寄与していると認められる。引き続き、適正な事務に努め、障害福祉の充実を図っていただきたい。		

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	4	1	2	障害者福祉	障害者福祉の充実
実施計画事業名					
障害者グループホーム等入居者家賃補助事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	02	12	障害者グループホーム等入居者家賃補助事業	
担当課・係等					
障害福祉課支援給付係					

実施計画整理番号	
204010202	
総合戦略整理番号	

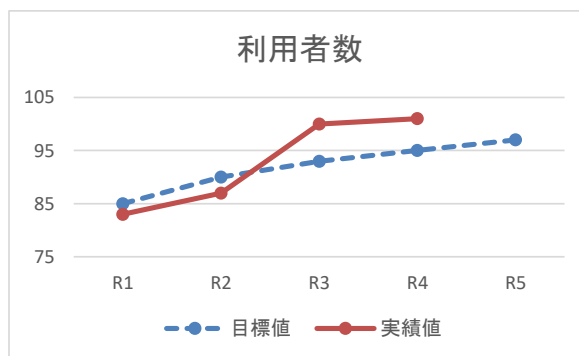
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	当該年度において、市町村民税非課税世帯に属する方で、生活保護法による保護を受けていないグループホーム、生活ホーム及び精神障害者ふれあいホーム入居者の、経済的負担を軽減することで生活の安定を図り、地域生活への移行を促進する。	グループホーム、生活ホーム及び精神障害者ふれあいホーム入居者に対し、家賃の一部を助成する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	グループホーム等の入居者に対し、家賃の一部を助成することで生活の安定化を図り、地域生活への移行を促進することで、施策「障害者福祉の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	9,021	9,021	8,810	9,021	9,645	9,404			
	国補助	千円									
	県補助	千円	4,510	4,510	4,404	4,510	4,822	4,702			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,511	4,511	4,406	4,511	4,823	4,702			
	人工数	人	0.05			0.06					
	人件費	千円	379			454					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市町村民税が非課税で、かつ生活保護を受けていないグループホーム等の入居者の生活の安定を図るため、申請に基づき適正な額の助成を行う。	適正な助成額の算定	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		利用者数	人	90	93	95
			87	100	103	

活動指標の動向

成果指標の動向



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	4	1	2	障害者グループホーム等入居者家賃補助事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	12	障害者グループホーム等入居者家賃補助事業

整理番号
204010202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	主たる収入が障害基礎年金で、生活保護の受給もない特に収入の少ない障害者グループホーム等の入居者に対し家賃の一部を助成し、経済的負担を軽減することで、生活の安定を図り社会的な自立と、地域生活への移行を促進することができた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<b>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の申請に基づき、適正に家賃助成を行うことができた。</li> <li>・グループホーム等の地域社会で共同生活を送る場は年々増加しているため、収入の少ない入居者の家賃の一部を助成することで、経済的負担を軽減し生活の安定化を図る本制度は、障害者の社会的自立と地域生活への移行を促す上で有意義である。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる者が入居するグループホーム等に通知を送付し、制度の周知に努める。</li> <li>・申請に基づき対象者ごとに適正な助成額の算定を行う。</li> </ul>			
	企画政策課の評価		評価理由	
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	利用者の生活の安定を図り、地域生活への意向を促進することは、障害者福祉の充実に寄与していると認められる。引き続き、適正な家賃助成を実施するとともに、周知の徹底に努めていただきたい。		



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	4	1	2	障害者福祉	障害者福祉の充実
実施計画事業名					
<b>心身障害者(児)施設等運営補助事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	02	08	心身障害者施設等運営補助事業	
担当課・係等					
障害福祉課支援給付係					

実施計画整理番号	
204010203	
総合戦略整理番号	

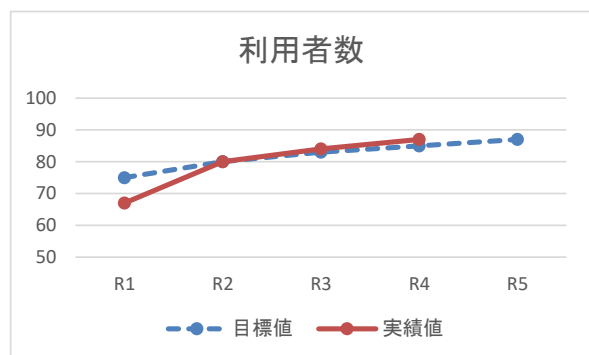
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>家庭での生活が困難な障害者に居住の場を提供する知的障害者生活ホームと障害者グループホームに対し、運営費の一部を補助することで、障害者の地域生活への移行と社会参加の促進を図る。</p>	<p>知的障害者生活ホーム、グループホームへ運営費の一部を助成する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>障害者の居住の場となる事業所の運営の安定を図ることで、更なる地域移行及び社会参加を促進し、施策「障害者福祉の充実」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	17,390	17,390	15,870	17,390	17,669	17,442			
	国補助	千円									
	県補助	千円	8,694	8,695	7,934	8,694	8,834	8,721			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	8,696	8,695	7,936	8,696	8,835	8,721			
	人工数	人	0.05			0.07					
	人件費	千円	379			530					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
障害者の居住の場となる事業所の運営の安定を図ることで、更なる地域移行及び社会参加を促進するため、申請に基づき適正な額の助成を行う。	適正な助成額の算定	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	目標値				
		実績値				
知的障害者生活ホーム、グループホームへ運営費を助成することにより、運営の安定を図り、障害者の自立と地域生活への移行を促進する。	利用者数	目標値	80	83	85	87
		実績値	80	84	87	

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	4	1	2	心身障害者(児)施設等運営補助事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	08	心身障害者施設等運営補助事業

整理番号
204010203

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>家庭での生活が困難な障害者に居住の場を提供する知的障害者生活ホームと障害者グループホームに対し、運営費の一部を助成することで、障害者の地域生活への移行と社会参加の促進を図った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の申請に基づき、適正に運営費助成を行うことができた。</li> <li>・地域社会で共同生活を送るグループホームは年々増加しており、その費用の一部を補助し運営の安定化を図る本制度は、障害者の地域生活への移行と社会参加を促すうえで有意義である。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、対象となるグループホーム等に通知を送付し、制度の周知に努める。</li> <li>・引き続き、申請に基づき事業所ごとに適正な助成額の算定を行う。</li> </ul>	
企画政策課の評価		評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul>	<p>本事業は、障害者グループホームへの運営費助成により、障害者の地域社会への移行及び社会参加に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、適正な助成額の算定及び制度の周知に努めていただきたい。</p>

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	4	2	2	障害者福祉	障害者の社会参加の促進
実施計画事業名					
社会参加促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	02	16	社会参加促進事業	
担当課・係等					
障害福祉課障害福祉係					

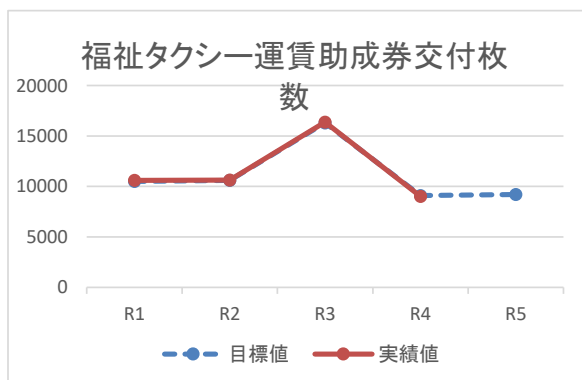
実施計画整理番号	
204020201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	重度心身障害者等が、タクシーやリフト付福祉カーを利用し、通院、買い物、会合等に外出しやすいうように、社会参加の援助を図る。	・タクシー運賃を助成する。(1名につき1,000円の助成券を年間最大36枚交付する。) ・リフト付福祉カーを貸し出す。(原則3日以内)
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	重度心身障害者等に対し、福祉タクシーの運賃助成及びリフト付福祉カーを貸し出すことで、通院、買い物、会合等の外出を促し社会参加につなげ、施策「障害者の社会参加の促進」に寄与する。	

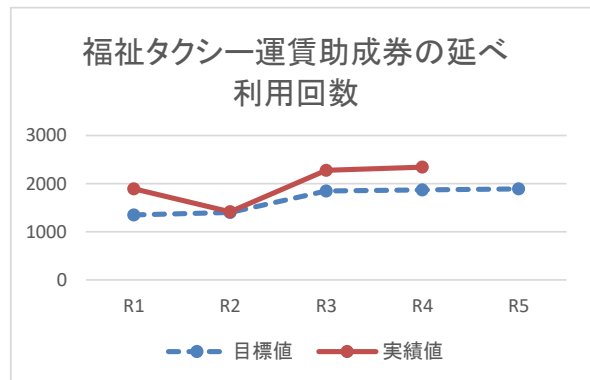
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,743	3,182	3,152	3,827	3,878	3,867			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,743	3,182	3,152	3,827	3,878	3,867			
	人工数	人	0.66			0.67					
	人件費	千円	4,047			4,595					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・タクシー運賃を助成する。(1名につき1,000円の助成券を年間最大36枚交付する。) ・リフト付福祉カーを貸し出す。(原則3日以内)	福祉タクシー運賃助成券交付枚数	枚	10,600	16,300	9,100	9,200
		実績値	10,632	16,374	9,021	
	リフト付福祉カーの貸出件数	件	45	47	49	51
		実績値	37	47	40	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・通院、買い物、会合等の外出を援助することで社会参加につなげる。	福祉タクシー運賃助成券の延べ利用回数	回	1,400	1,800	1,850	1,900
		実績値	1,415	2,275	2,342	

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	4	2	社会参加促進事業	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	16	社会参加促進事業

整理番号
204020201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・タクシー運賃(1,000円の助成券を年間最大36枚交付)の助成及びリフト付福祉カーの貸し出しを行うことにより、重度心身障害者等の外出を援助し社会参加につなげた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
<b>A: 必要性が高い</b>	<b>A: 有効性が高い</b>	<b>A: 効率性が高い</b>
総合評価		
<b>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</b>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・重度心身障害者が利用したタクシーの運賃を助成し、外出しやすいよう援助することができた。                      ・重度心身障害者等にリフト付福祉カーを貸し出すことで、社会参加へ一定の効果があった。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
<b>A: 計画どおり事業を進めることが適当</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・引き続き、重度心身障害者等の外出による社会参加に寄与するため、適切な援助を行う。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当                      B: 事業改善の検討が必要                      C: 事業の休止・廃止の検討が必要                      D: 事業終了が適当</p> <p>本事業は、障害者の外出を援助することで、障害者の社会参加の促進に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、適切な支援に努めていただきたい。</p>

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	5	1	1	保健医療	健康づくりの推進
実施計画事業名					
健康づくり推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	02	健康づくり推進事業	
担当課・係等					
健康管理課健康指導係					

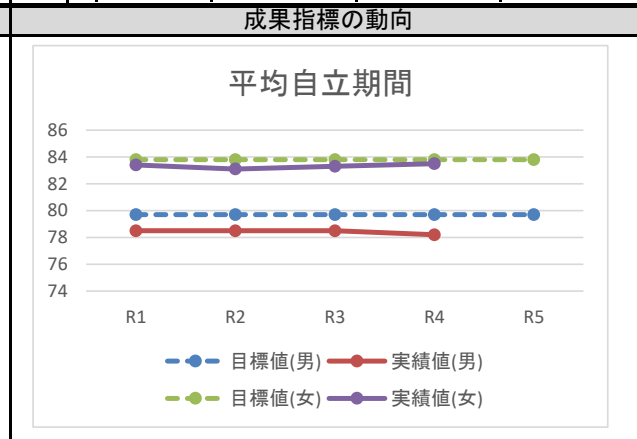
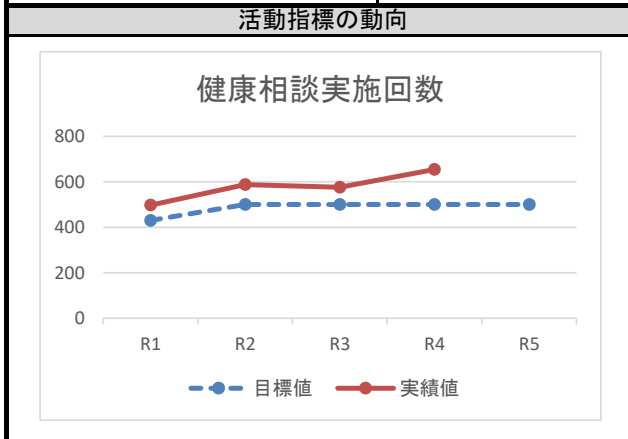
実施計画整理番号	
205010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	健康増進計画の下、全ての年代、様々な健康状態の市民への健康知識の普及啓発等を行うことにより、いきいきと暮らすための健康づくりを多方面から支援し、要介護状態になることを予防し、健康寿命の延伸につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茂原市健康づくり推進協議会を設置し、活動する。</li> <li>・健康的で明るい生活ができるよう保健師・歯科衛生士・栄養士等が必要な指導・助言を行う。</li> <li>・生活習慣病予防を中心に、運動・食生活等市民の健康保持、増進が図れるよう支援する。</li> <li>・ドナーとなった者及びドナー休暇を取得させた国内事業所に対し、助成金を支給する。</li> <li>・自殺に至る背景の理解の促進や、危機に陥った場合の援助希求力を高めるため、市民や職員向けの講座を開催する。</li> <li>・市内小中学校と連携した思春期保健事業を実施する。</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

市民ぐるみの健康づくりとして、がん、脳血管疾患、心臓病などの起因となる生活習慣病の予防のため、関連団体と協働での健康教育の開催や、相談体制の充実を図ることで施策「健康づくりの推進」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,548	1,537	831	1,544	1,485	1,376			
	国補助	千円									
	県補助	千円	367	262	191	367	336	214			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,181	1,275	640	1,177	1,149	1,162			
	人工数	人	4			3.9					
	人件費	千円	29,307			17,679					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
茂原市健康増進計画に基づき、市民の健康づくりのため健康教育、健康相談、地区組織活動の推進を行う。	健康教室の開催回数	回	目標値 160	160	160	160
		実績値 163	259	244		
	健康相談実施回数	回	目標値 430	500	500	500
		実績値 588	576	654		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民の健康への意識が向上し、健康寿命の延伸につながる。	市民の平均自立期間(介護なしで自立して生活できる期間)	年	目標値 男79.7 女83.8	男79.7 女83.8	男79.7 女83.8	男79.7 女83.8
		実績値 男78.5 女83.1	男78.5 女83.3	男78.2 女83.5		



## 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	5	1	1	健康づくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	02	健康づくり推進事業

整理番号
205010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・令和4年度の健康生活推進員の地域への普及活動の実施は、健康づくり料理教室2回、家庭教育学級1回、フレイル予防普及3回、ウォーキング教室7回、健幸フライデーでの啓発活動7回の計20回実施、409名参加があった。</p> <p>・自殺予防対策事業は、こころの健康相談11回実施、相談者30名、ゲートキーパー養成講座2回実施、36名参加、メンタルヘルス啓発事業1回実施、18名参加、思春期の育ちを支えるセミナー1回実施、15名参加であった。パンフレットによる産後うつ啓発338名実施。</p> <p>・思春期保健事業は、小学校4校、217名参加、中学校5校、690名参加、パンフレットの配布681名であった。</p> <p>・睡眠講座1回実施、25名参加であった。</p> <p>・歯科相談41回、52名利用、栄養相談298回、344名利用、健康相談315回、3,750名であった。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>B: 必要性が認められる</b>	<b>B: 有効性が認められる</b>	<b>B: 効率性が認められる</b>
	総合評価		
	<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<p>・令和4年度は、健康生活推進会の普及活動のみ、8月の新型コロナウイルス感染症が蔓延した時期に中止としたが、それ以外の健康教育は感染症予防対策を講じて実施したので、昨年より利用人数は増加した。</p> <p>・健康相談による個別対応による利用者についても、新型コロナウイルス感染症の蔓延時は、利用控えがみられたが、概ね昨年並みの利用で推移した。</p> <p>・健康教育や健康相談の実施と利用状況が、コロナ禍前の状態に戻りつつあり、順調に利用者が増えていくが、男性の平均自立期間が0.3年短くなっており、健康教育への参加が少ない傾向のある男性への効果的なアプローチを検討していく必要があった。</p>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	<b>B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・健康教育、健康相談ともオンライン環境が整い、オンラインで実施できるようになってきたが、オンラインの利用は減少し、対面での参加が増加してきている。コロナ禍終焉の兆しが見られ、対面での実施が通常になると思われるが、教室参加の少ない男性も含め、より多くの方への啓発を図るため、オンラインでの参加も受け付け、自宅からでも参加しやすい環境を整えていく。</p> <p>・個別の健康相談の更なる充実を図るため、個別の電話相談も積極的に受けられるよう広報や市公式ウェブサイトでも周知を図っていく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
	<b>B</b>	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>健康教育の開催や相談体制の充実を図ることで、健康寿命の延伸に一定の成果を挙げていると認められる。更なる相談体制の充実を図るとともに、SNS等による積極的な啓発にも努めていきたい。</p>

# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	5	2	1	保健医療	成人保健事業の充実
実施計画事業名					
<b>がん検診事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	01	健康診査事業	
担当課・係等					
健康管理課健康指導係					

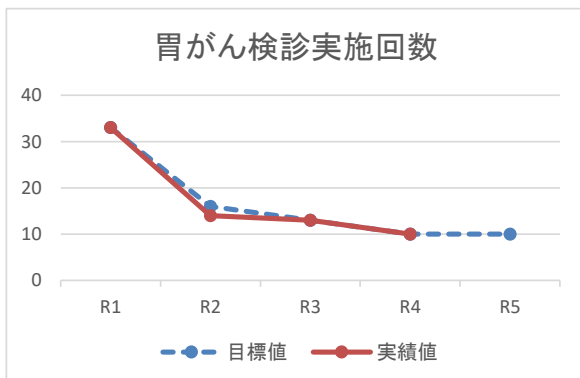
実施計画整理番号	
205020101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民を対象にがんを早期に発見し、早期治療につなげ、市民の健康寿命の延伸を図る。	健康増進法に基づき、各種がん検診を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市民の利便性に配慮した受診機会の拡大や受診率の向上に努め、継続的な健(検)診や受診の習慣化を図ることにより、施策「成人保健事業の充実」に寄与する。	

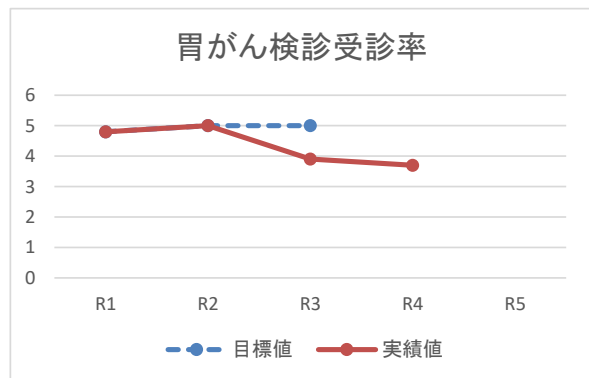
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	88,677	88,865	75,704	88,677	89,239	74,348			
	国補助	千円	688	688	457	688	457	546			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	11,075	11,075	8,873	11,075	10,625	8,780			
	一般財源	千円	76,914	77,102	66,374	76,914	78,157	65,022			
	人工数	人	5			6.5					
	人件費	千円	30,729			37,066					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
各種がん検診を実施する。	肺がん検診実施回数	目標値	22	11	10	10
		実績値	7	11	10	
	胃がん検診実施回数 ※2年度以降対象者変更	目標値	16	13	10	10
		実績値	14	13	10	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
がんの早期発見及び早期治療につなげ、市民の健康寿命の延伸を図る。	胃がん検診受診率 ※3年度以降集計方法変更	目標値	5.0	5.0	増加を目指します	増加を目指します
		実績値	5.0	3.9	3.7	

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	5	2	1	がん検診事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	01	健康診査事業

整理番号
205020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・集団検診については、肺がん検診10回、胃がん検診10回、大腸がん検診11回、子宮頸がん検診10回、乳がん検診23回、口腔がん検診1回、前立腺がん検診33回、胃ピロリ菌検査33回を実施した。</p> <p>・いずれの検診についても目標とした回数を実施することができ、受診者にとって疾病の早期発見及び早期治療につなげることができた。</p> <p>・受診者数及び受診率については、肺がん検診6,175人(10.4%)、胃がん検診2,216人(3.7%)、大腸がん検診4,446人(7.5%)、子宮頸がん検診4,957人(12.9%)、乳がん検診6,601人(19.0%)である。</p> <p>・精密検査受診率については、肺がん85.6%、胃がん95.8%、大腸がん83.3%、子宮頸がん93.5%、乳がん93.0%である。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・前年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、その対策のために受診勧奨等の制限を余儀なくされたものの、感染拡大の落ち着きと共に、一部の検診では受診者数及び受診率が上昇した。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・感染症をめぐる情勢の変化に応じた対策を講じて、受診機会を確保するとともに、対象となる市民に適切な情報提供や啓発を行うことで受診者数及び受診率の向上につなげ、国の目標値到達とともに、市民の健康意識の向上に努める。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p>	<p>本事業は、市民の疾病の早期発見及び早期治療に一定の成果があったと認められる。今後は様々な媒体を活用した啓発を実施し、受診率の向上を図るとともに、検診内容については、市民ニーズ及び関係機関との連携により随時精査に努めていただきたい。</p>



# 令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	5	2	1	保健医療	成人保健事業の充実
実施計画事業名					
健康診査事業					

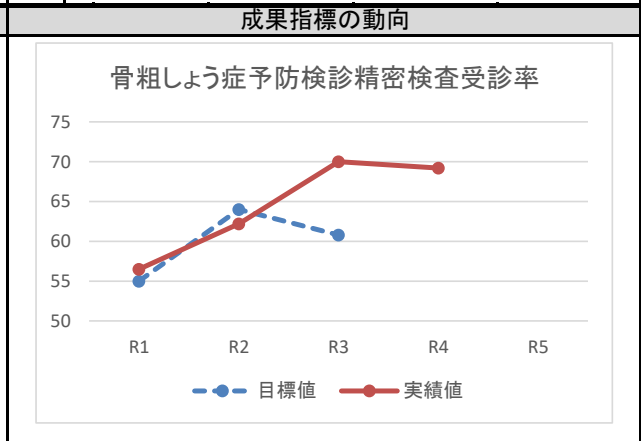
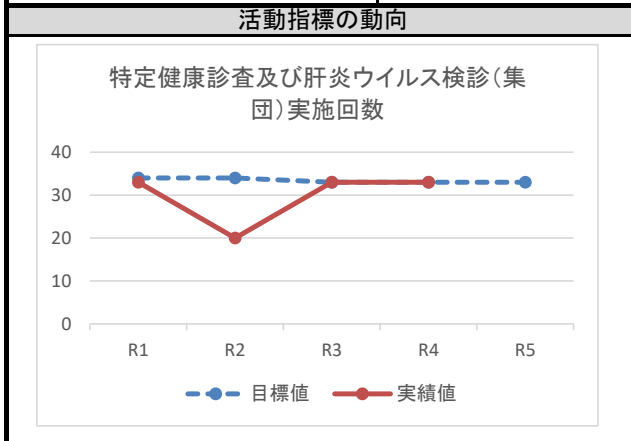
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	01	健康診査事業	
担当課・係等					
健康管理課健康指導係					

実施計画整理番号	
205020102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民を対象に疾病を早期に発見し、早期治療につなげ、市民の健康寿命の延伸を図る。	健康増進法に基づき、各種健(検)診を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市民の利便性に配慮した受診機会の拡大や受診率の向上に努め、継続的な健(検)診や受診の習慣化を図ることにより、施策「成人保健事業の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	11,593	11,416	6,665	11,593	10,818	7,933			
	国補助	千円									
	県補助	千円	7,402	7,402	4,443	7,402	7,604	5,289			
	市債	千円									
	その他	千円	201	201	156	201	250	150			
	一般財源	千円	3,990	3,813	2,066	3,990	2,964	2,494			
	人工数	人	6.9			5.25					
	人件費	千円	42,264			30,162					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
骨粗しょう症予防検診、肝炎ウイルス検診、特定健康診査非対象者に対する健康診査等を実施する。	特定健康診査及び肝炎ウイルス検診(集団)実施回数	回	34	33	33	33
		実績値	20	33	33	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
疾病の早期発見及び早期治療につなげ、市民の健康寿命の延伸を図る。	骨粗しょう症予防検診精密検査受診率	%	64.0	60.8	増加を指 します	増加を指 します
		実績値	62.2	70.0	69.2	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	5	2	1	健康診査事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	01	健康診査事業

整理番号
205020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・特定健康診査及び肝炎ウイルス検診(集団)を33回、骨粗しょう症予防検診(集団)を2回、結核検診(集団)を10回実施した。</p> <p>・特定健康診査及び一部の検診は個別健診も実施した。</p> <p>・いずれの健(検)診についても目標とした回数を実施することができ、受診者にとって疾病の早期発見及び早期治療につなげることができた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<p><b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b></p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・前年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、その対策のために受診勧奨や受付方法等に制限を余儀なくされたものの、感染拡大の落ち着きと共に、一部の検診では受診者数及び受診率が上昇した。</p> <p>・感染症をめぐる情勢に応じた対策を講じつつ、情報提供や啓発を行い、市民の健康意識の向上に努める必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・感染症をめぐる情勢の変化に応じた対策を講じて、受診機会を確保するとともに、対象となる市民に適切な情報提供や啓発を行うことで受診者数及び受診率の向上につなげ、国の目標値到達とともに、市民の健康意識の向上に努める。</p>		
企画政策課の評価	評価理由	
<p><b>B</b></p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>本事業は、市民の疾病の早期発見及び早期治療に一定の成果があったと認められる。今後は様々な媒体を活用した啓発を実施し、受診率の向上を図るとともに、検診内容については、市民ニーズ及び関係機関との連携により随時精査に努めていただきたい。</p>	